

2025 年 6 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025 年 5 月 13 日

上 場 会 社 名 株式会社 JDSC 上場取引所 東
コ ー ド 番 号 4418 URL https://jdsc.ai/
代 表 者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 加藤 聡志
問合せ先責任者 （役職名） 取締役 CFO （氏名） 作井 英陽 (TEL) 03 (6773) 5348
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025 年 6 月期第 3 四半期の連結業績（2024 年 7 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025 年 6 月期第 3 四半期	18,189	62.9	506	998.4	472	—	293	—
2024 年 6 月期第 3 四半期	11,165	650.8	46	△31.3	0	—	△65	—

(注) 包括利益 2025 年 6 月期第 3 四半期 344 百万円 (—%) 2024 年 6 月期第 3 四半期 △58 百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025 年 6 月期第 3 四半期	21.40	21.11
2024 年 6 月期第 3 四半期	△4.91	—

(注) 1. 2025 年 6 月期第 3 四半期の経常利益の対前年同四半期増減率は 1,000%を超えるため、「—」と記載しております。
2. 2024 年 6 月期第 3 四半期の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、1 株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025 年 6 月期第 3 四半期	8,900	4,051	44.1
2024 年 6 月期	7,605	3,361	43.3

(参考) 自己資本 2025 年 6 月期第 3 四半期 3,928 百万円 2024 年 6 月期 3,289 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四 半 期 末	第 2 四 半 期 末	第 3 四 半 期 末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024 年 6 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025 年 6 月期	—	0.00			
2025 年 6 月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025 年 6 月期の連結業績予想（2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	23,100	40.4	550	985.1	650	290.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025 年 6 月期 3 Q	13,818,500 株	2024 年 6 月期	13,359,800 株
② 期末自己株式数	2025 年 6 月期 3 Q	101,864 株	2024 年 6 月期	81,500 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025 年 6 月期 3 Q	13,696,961 株	2024 年 6 月期 3 Q	13,222,701 株

※ 第 3 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人のレビュー対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会資料の入手方法について）

当社は、2025 年 5 月 13 日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会（オンライン説明会）を開催する予定です。当日の説明会資料については、TDnet で開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「UPGRADE JAPAN」をミッションとして掲げ、「AIでデータの真価を解き放ち産業の常識を塗り替える」というヴィジョンを実現すべく、データサイエンスや機械学習、AIといった最先端の技術を社会に実装することを目指しております。

従来のDX活用/AI導入の支援などの労働集約的なビジネスに加えて、自社AIソリューションを中心とした非労働集約的な収益の獲得も目指しており、AIソリューション開発プロジェクト獲得や研究開発、先行投資としての積極的な人材採用に引き続き注力いたしました。「Chat GPT」をはじめとするLLM（大規模言語モデル）の活用をテーマとするプロジェクトも増加しており、AIの利活用に対する需要の高まりに機動的に対応する形で事業運営を行っております。

また、グループ会社の株式会社ファイナンス・プロデュースではスタートアップの資金調達やM&Aを助言する案件を多数獲得・実行し、メールカスタマーセンター株式会社では紙のダイレクトメール（DM）発送代行において既存顧客の取引窓口の拡大や新規受注の獲得を行いました。

AIソリューション事業については、AIソリューションの横展開事例の増加や、新規顧客獲得や既存顧客からのアップセル等もあり好調に推移しました。フィナンシャル・アドバイザー事業については、ファイナンス戦略アドバイザー及びスタートアップの資金調達助言等の案件を複数執行しました。マーケティング支援事業については、紙のダイレクトメール（DM）発送代行において既存顧客の取引窓口の拡大や新規受注の獲得が順調に進展しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は以下となりました。

売上高については、新たなAIソリューション開発プロジェクト（Joint R&D）の獲得、既存のAIソリューションの拡販、既存顧客からのアップセル等の施策を積極的に進めた結果、18,189,867千円（前年同期比62.9%増）、売上総利益は1,758,446千円（前年同期比54.4%増）となりました。

営業利益については、人材採用といった先行投資を引続き積極的に進めながらも上記の通り売上高の増加に伴い、506,732千円（前年同期比998.4%増）となりました。特に人材採用については当社の今後の成長に必要であることから積極的に進めておりますが、業務委託費をコントロールする等、適切なコスト構造への移行を進めております。

経常利益については、営業利益の増加に伴い、472,844千円（前年同期は経常利益81千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は293,165千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失65,033千円）となりました。

なお、当社グループの第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の損益状況については「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計8,900,819千円となり、前連結会計年度末に比べ1,295,466千円増加しました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が865,702千円、その他資産が310,338千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は4,848,983千円となり、前連結会計年度末に比べ604,818千円増加しました。これは主に、買掛金が653,543千円、未払法人税等が145,796千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,051,836千円となり、前連結会計年度末に比べ690,647千円増加しました。これは主に、資本剰余金が361,682千円、利益剰余金が293,165千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の連結業績予想につきましては、売上高及び営業利益が2025年2月13日時点の前回予想を上回ると見込まれるため、業績予想を上方修正することといたしました。業績予想の詳細に関しては、本日(2025年5月13日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正(上方修正)に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,297,785	2,401,361
受取手形、売掛金及び契約資産	2,712,745	3,578,448
前払費用	53,611	51,825
その他	117,088	427,427
貸倒引当金	△54	△4,045
流動資産合計	5,181,177	6,455,017
固定資産		
有形固定資産	72,493	66,418
無形固定資産		
のれん	644,940	619,813
顧客関連資産	1,212,750	1,165,500
その他	333	1,536
無形固定資産合計	1,858,024	1,786,849
投資その他の資産		
その他	511,994	655,698
貸倒引当金	△18,337	△63,164
投資その他の資産合計	493,657	592,533
固定資産合計	2,424,175	2,445,801
資産合計	7,605,353	8,900,819
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,797,090	2,450,634
1年内返済予定の長期借入金	254,436	254,436
未払金	146,607	103,874
未払法人税等	37,546	183,343
未払消費税等	38,271	108,918
契約負債	23,907	23,347
賞与引当金	2,380	35,092
その他	121,749	80,494
流動負債合計	2,421,990	3,240,141
固定負債		
長期借入金	1,392,139	1,201,183
退職給付に係る負債	31,653	29,346
資産除去債務	20,331	20,447
その他	378,049	357,864
固定負債合計	1,822,173	1,608,842
負債合計	4,244,164	4,848,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,955	11,619
資本剰余金	3,764,356	4,126,038
利益剰余金	△426,980	△133,814
自己株式	△60,465	△74,978
株主資本合計	3,289,865	3,928,864
新株予約権	828	763
非支配株主持分	70,494	122,208
純資産合計	3,361,188	4,051,836
負債純資産合計	7,605,353	8,900,819

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	11,165,970	18,189,867
売上原価	10,026,720	16,431,421
売上総利益	1,139,250	1,758,446
販売費及び一般管理費	1,093,117	1,251,714
営業利益	46,132	506,732
営業外収益		
受取利息	252	1,756
受取手数料	168	140
還付加算金	-	619
貸倒引当金戻入額	3,549	-
投資事業組合運用益	-	10,522
その他	1,893	735
営業外収益合計	5,864	13,773
営業外費用		
支払利息	10,594	17,695
投資事業組合運用損	5,888	-
持分法による投資損失	14,971	23,938
その他	20,460	6,027
営業外費用合計	51,916	47,661
経常利益	81	472,844
特別利益		
固定資産売却益	10	175
新株予約権戻入益	21	-
特別利益合計	31	175
特別損失		
固定資産売却損	44	92
特別調査関連費用	-	6,026
特別損失合計	44	6,118
税金等調整前四半期純利益	67	466,900
法人税、住民税及び事業税	43,891	150,589
法人税等調整額	15,140	△28,569
法人税等合計	59,032	122,020
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△58,965	344,879
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,068	51,714
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△65,033	293,165

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△58,965	344,879
四半期包括利益	△58,965	344,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△65,033	293,165
非支配株主に係る四半期包括利益	6,068	51,714

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年7月1日を払込期日とする第三者割当増資の払込みにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ178,502千円増加しております。

また、2024年9月25日開催の定時株主総会の決議に基づき、2024年11月8日付で減資の効力が発生し、資本金が181,509千円減少し、この減少額全額をその他資本剰余金へ振り替えました。

さらに、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当第3四半期連結累計期間において、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,670千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が11,619千円、資本剰余金が4,126,038千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	43,461千円	59,889千円
のれんの償却額	35,720	25,127

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 2
	AIソリューション事業	フィナンシャル・アドバイザリー事業	マーケティング支援事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,322,011	114,260	9,729,698	11,165,970	—	11,165,970
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,322,011	114,260	9,729,698	11,165,970	—	11,165,970
セグメント利益又は 損失(△)	△24,241	△1,008	71,382	46,132	—	46,132

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 2
	AIソリューション事業	フィナンシャル・アドバイザリー事業	マーケティング支援事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,045,532	292,541	15,851,792	18,189,867	—	18,189,867
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,952	—	1,317	14,270	△14,270	—
計	2,058,485	292,541	15,853,110	18,204,137	△14,270	18,189,867
セグメント利益	289,786	151,913	64,655	506,355	376	506,732

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

資本業務提携及び第三者割当増資による新株式の発行

1. 当社は、2025年5月13日付の取締役会決議により、以下のとおり、AZ-COM丸和ホールディングス株式会社（以下「AZ-COM丸和」といいます）との戦略的な資本業務提携を行うこと及び割当予定先に対する第三者割当による新株式の発行（以下「本第三者割当」といいます）を決議し、本資本業務提携についての契約を締結いたしました。
- 募集の概要は以下のとおりであります。

① 募集の概要

(1) 払込期日	2025年7月1日
(2) 発行新株式数	普通株式584,000株
(3) 発行価額	1株につき856円
(4) 調達資金の額	499,904,000円
(5) 資本組入額	1株につき428円
(6) 資本組入額の総額	249,952,000円
(7) 募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法により、そのすべてをAZ-COM丸和に割り当てます。
(8) その他	上記各号については、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力発生を条件としています。

② 募集の目的及び理由

当社は、AZ-COM丸和との間で協業に向けた協議を続けてまいり、今般、長期的な関係強化と資本面における提携関係を構築することを目的とし、同社に対する第三者割当増資を実施することといたしました。

本第三者割当により、グループにおける成長事業への投資資金に充当することは、当社グループの売上の増加や収益率の向上に繋がり、ひいては企業価値の向上が期待されます。一方で、AZ-COM丸和グループは、当社グループの強みである、ビジネスデベロップメント、データサイエンス及びエンジニアリングの三位一体のチーム体制による産業課題の掘り起こし、AIによる解決策の提示、AIアルゴリズムの開発及びAIソリューションの実装などの競争優位性を活用することで事業拡大が見込まれることから本第三者割当を決定いたしました。

今後は、AZ-COM丸和グループの持つ物流関連の知見及びノウハウと、当社グループのAI・データサイエンスの技術力や未解決の産業課題を解決する事業開発力を掛け合わせることで、当社の企業価値を更に向上すべく、AZ-COM丸和グループ及び当社グループの事業面における提携関係の強化・発展に向けた協議を進めてまいります。

③ 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

払込金額の総額 (円)	発行諸費用の概算額 (円)	差引手取概算額 (円)
499,904,000円	2,368,000円	497,536,000円

(注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

2. 発行諸費用の概算額の内訳は、登記関連費用及び弁護士費用等の合計額であります。

(2) 調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期

具体的な使途及び支出予定時期につきましては、以下のとおりです。

具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
人材投資	347	2025年7月～2028年6月
研究開発	75	2025年7月～2028年6月
経営基盤の強化	75	2025年7月～2028年6月
合計	497	

(注) 上記の資金使途に充当するまでの間、当該資金は銀行預金で保管する予定です。